



小角又次《さんま》昭和33年

ふるさとの画家

小角又次 水彩画展

2015年
5月30日(土)～6月28日(日)

会場 白鷹町文化交流センター あゆーむ

〒992-1077 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

時間 9時～19時

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)

観覧料 一般個人2000円 高校生以下無料

主催 白鷹町文化交流センター

問合せ 0238-8519071

【小角又次・こすみまたじ】白鷹町生まれ。

戦前の秋田鉱専を卒業し、海軍飛行予備学生、任官、
敗戦で帰郷。

上京し、独学で水彩画を始める。

太平洋画会(後の太平洋美術会)会員、
評議員、審査員として活躍。

小角又次 水彩画展



小角又次プロフィール

略歴

大正12年 山形県白鷹町に生まれる
秋田鉱山専門学校卒業、
海軍飛行予備学生、任官、敗戦、帰郷

昭和22年 上京、水彩画を独習

昭和24年 日本水彩展(上野)に初出品、入選、
以降水彩画を発表

昭和29年 太平洋画会(後に太平洋美術会と改称)に
出品、会員、評議員、審査員

平成元年 退会

平成23年 死去

個展歴

昭和39、41年 銀座文藝春秋画廊(2回)

昭和45、47年 日本橋柳屋画廊(2回)

昭和51、57年 山形市大沼デパート(2回)

平成元年 長井市民文化会館(1回)

平成11年 長井市ギャラリー
十字路企画展(1回)

昭和48年～平成18年
新宿小田急デパート(16回)

水の心を知り尽くした画家 小角画伯を称える

このたび、AYu:Mギャラリーにおいて、小角又次画伯の水彩画展が大々的に開催されることを知り、大先輩の作品に再びお目にかかれることに対し、誠に感慨深く嬉しく思ったところです。

白鷹町出身の画家であること、独学でその道を窮められたこと、そして数ある画材(絵の具)のなかでも最も繊細でやり直しがきかないやっかいな水彩絵の具を、縦横無尽に駆使できる稀有な作家であったこと……等々、羨望と尊敬の念を抱いてお付合いをさせていただいた者として、再び画伯の作品を鑑賞できることに心から感謝したい気持ちでいっぱいになりました。

昭和48年から平成18年まで、個展を新宿小田急デパートギャラリーにおいて

16回も開催された事実には、ただ驚嘆するしかありません。

その仕事ぶりが世に認められ、以前水彩画の教科書に採用される切掛けになったことは誠に素晴らしいことでありました。

平成18年に発行した氏の画集『水泡』のあとがきに自ら記しておられますが、昭和33年以降平成元年まで、日記がわりに1日1枚の気持ちで水彩画を描いてきた、と言うからこれはまさに驚異としか思えません。更にそのむすびには、「私の一生を川の流れるにたとえれば、この水彩小品集も『水泡』のようなものである」と東北人らしく謙遜した表現をされていますが、私は小角画伯の生涯を現した「後世に残る一大絵巻」と言っても過言ではない

と思っているところです。

水と緑に恵まれた湿潤な風土を、水分たっぷりに表現したふるさとの風景画、清逸な筆致で描かれたくだもの野菜、瞬時に仕上げたであろう人物画等々、郷土愛に満ちた画伯の印象深い作品の数々を、この機会に一人でも多くの皆様に鑑賞していただきたいと願って止みません。

平成27年5月

フランス芸術家協会(ル・サロン)永久会員

八樹会代表

白鷹町出身

別府 忠雄



会期中のあゆーむイベント

◎うたごえ喫茶あゆーむ

日時=5/31(日)13:30~(15:30終了予定)
会場=文化伝承室
会費=500円(ワンドリンクつき)
お申込=必要。あゆーむまでお申込ください。
内容=生演奏の伴奏でみんなで歌をうたいたしましょう。歌本からのリクエストも受け付けます。

◎クニ三上トリオ

0才からのジャズコンサート

日時=6/14(日)14:30開演(14:00開場)
会場=ホール
入場料=大人 1500円(中学生以上)
子ども 500円(0才~小学生)
※全席自由
演奏=クニ三上(ピアノ)、林正男(ベース)、橋本学(ドラムス)
内容=子育てママに贈るジャズコンサート。赤ちゃんから大人まで楽しめる本格ジャズ。大人だけのご来場も大歓迎。授乳・おむつ替えコーナーあり。



白鷹町文化交流センターAYu:M

〒992-0771 山形県西置賜郡白鷹町大字鮎貝7331番地

■お車でお越しの場合/山形市より国道348号線で約35分

■電車でお越しの場合/赤湯駅より山形鉄道フラワー長井線〔荒砥行き〕で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約4分

お問合せ=TEL.0238-85-9071